

8 さつまいもの品種比較試験

試験の目的

市内農協では、そばの輪作作物の一つとしてさつまいもを組み入れることを計画しています。しかし、当地に適した品種についての情報が少ないことから、北海道立総合研究機構発行の「さつまいも栽培マニュアル（2018年版）」（以下「栽培マニュアル」という。）にのっとり、露地で試作を行い、品種の特性を調査しました。

関係先 市内農協

試験概要

(1) 供試品種（切苗購入先は、全てカネコ種苗）

シルクスイート（従来系統）、ベニアズマ（系統名：SA-9）、べにはるか、
なると金時（系統名：KK-2）、コガネセンガン

(2) 栽培概要

- ・栽植密度：株間 30 cm，畝間 90 cm（ベッド：幅 50cm，高さ 20cm），3,703 株/10a
- ・施肥量（kg/10a）：N:P:K=5：10：15
- ・かん水管理：移植時のみジョウロでかん水し，以降はかん水なし。
- ・その他：除草剤散布とアブラムシ類防除（各 1 回）を行った。

(3) 移植日・移植方法・収穫日

5月29日に移植。火バサミで切苗を挟み，畝に張った生分解性黒マルチに，斜め約45°の角度で突き刺し，4節まで土に埋めて，火バサミを引き抜きました。その後，蔓の先端の生長点付近のマルチ焼け防止のため，同部位とマルチの間に土を盛り，マルチと触れないようにしました。節間が短く，4節を埋めるだけでは自立しない切苗は，5～6節まで埋めました。収穫は，9月29日（移植後124日）に行いました。

試験結果

(1) 栽培環境（栽培期間：5/29-9/29）

栽培マニュアルでは，安定した収量が見込める積算温度を2,400℃としています，本年度は期間を通して平年よりも温暖で，積算温度は2,439℃でした。

(2) 調査結果

収量は，ベニアズマ及びなると金時が最も多くなりました。また，収量の多い品種ほど，焼き芋としての需要が高いL～S品が多い傾向がありました。なお，栽培マニュアルでは収量を2.5t/10aと想定していることから，どの品種も多収だったといえます。

Brix（糖度）は，べにはるかとかとコガネセンガンが最も高くなりました。

蒸し芋による食味調査では，べにはるか及びコガネセンガンの評価が高く，Brixと同じ傾向でした。最も好まれた品種は，べにはるかでした。

表1 収穫調査結果

	収量 (kg/10a)	規格別収量(kg/10a)			株当たり収量 (kg/株)	Brix (%)
		4L~2L	L~S	2S		
シルクスweet	3,791	116	3,002	673	1.02	23.1
ベニアズマ	4,596	592	3,687	317	1.24	25.2
べにはるか	3,997	1,284	2,419	294	1.08	27.9
なると金時	4,599	1,044	3,275	280	1.24	24.9
コガネセンガン	2,811	430	2,166	215	0.76	27.9

- ・収量：10a 当たりの上芋（50g 以上の規格内の芋）の重量
- ・規格別収量：10a 当たりの上芋の規格別株数割合
4L~2L:500g 以上 L~S:100g 以上 500g 未満 2S:50g 以上 100g 未満
- ・株当たり収量：1 株当たりの上芋の収穫量
- ・Brix：40 分間蒸した 3 本の M 品の芋から合計 50g の切片を切り出し、ミキサーでかくはんした後、汁液を測定（10 月 15 日測定）

表2 蒸し芋による食味調査（10 月 22 日調査，指数評価）

	甘味	食感	硬さ	好み
	1 弱~5 強	1 粉質~5 粘質	1 硬~5 柔	1 嫌~5 好
シルクスweet	2.8	3.6	3.6	3.1
ベニアズマ	2.7	2.1	2.2	3.2
べにはるか(基準)	(3.0)	(3.0)	(3.0)	3.9
なると金時	2.6	2.8	2.9	3.0
コガネセンガン	3.1	3.1	3.1	3.5

(3) まとめ

収量が多かった品種はベニアズマ及びなると金時，糖度が高く，食味調査で最も好まれた品種はべにはるかでした。シルクスweetは，切苗の活着率が高く，芋の形状が良い傾向がありました。また，品種によって皮色や肉色も異なりました。そのため，栽培に当たっては，用途に応じて品種を選択する必要があります。

(4) その他

本試験では，株間 30cm，畝間 90cm と栽植密度を高く設定した結果，面積当たりの収量が多くなりました。しかし，S 品及び 2S 品などの小芋がやや多く，密植のために光合成が十分に行えなかった可能性があります。加えて，通路幅も狭かったために，降雨で通路が冠水し，また，ベッドを立てる際や，除草や防除などの作業性が非常に悪かったことから，株間及び畝間は本試験よりも広く設定することが望ましいと思われま



図 各品種の M 品の芋（10 月 13 日撮影）